

秋山 リリカ のライフプラン

将来なにになりたいか? **鉄道設計士**

その理由: **人々の生活の足になる安全で快適な電車づくりに関わりたいから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	10(小4)	いざ難度の高い機械工学を学ぶための教科の学習にしっかり取り組む。	
2022年	11(小5)	日々学習しながら休日は都内を走る電車を実際見に出かける。	電車見学の費用
2023年	12(小6)	将来海外で仕事をするチャンスを得るため英語学習を日課にする。	英語の教材費
2024年	13(中1)	中学からの基礎学力をしっかりと身につける。	中学授業料
2025年	14(中2)	↓	↓
2026年	15(中3)	英語の学習にさらによび込む。	英語の教材費用
2027年	16(高1)	機械工学科のある大学入試に向けての勉強開始。	高校授業料(給付代) 電車見学のための旅行代
2028年	17(高2)	受験勉強しながら日本国内の鉄道を見に出かける。	↓
2029年	18(高3)	↓	↓
2030年	19(大1)	大学入学、広い分野の知識習得の学習。	大学授業料
2031年	20(大2)	機械工学に関する知識を努力して少しずつ身につける。	専門分野の本代
2032年	21(大3)	鉄道車両メーカーに入社するための就職活動開始。	就職活動費
2033年	22(大4)	機械工学の専門分野を決め、研究を深める。	本代
2034年	23(入社)	鉄道車両メーカーに入社。鉄道に関する仕事をから学んでいく。	
2035年	24(2年目)	日々努力して専門知識を少しずつ身につけていく。	本代
2036年	25(3年目)	鉄道設計士の資格を取る。鉄道設計にしっかり関われるようにさらに経験を積む。	本代、検定料
2054年	43(20年目)	海外の電車を見学するために旅行する。外国の鉄道設計するチームに変わる。	旅行代、本代

※最後の行は、荷歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!

「安全で快適な電車を追求したい!」

筑波大学附属小学校 四年 秋山 リリカ

私は毎日、私鉄、JR、地下鉄の三種類の電車を乗りついで学校に通う。入学間もなく、初めて一人でドキドキしながら三本の電車に乗って無事に登校し、ほっとした日の事は今でも覚えている。その日以来、時間通りに出発し安全に乗客を運び、より便利に車内がリニューアルされていく都心の電車をすごいと思いい、電車への興味がどんどん増していった。例えば車内設備。車イスやベビーカーの置ける「フリースペース」が全車両にできた。四種類の外国語や所要時間の細かい情報を映し出すモニター、コンセントやWiFiのとう載など、最近では乗客にとつての利便性がより追求されている。車内防犯カメラや規定速度超過時には自動ブレーキがかかるなどの安全性もアップされ、又、山手線最後尾の行先表示器に映る季節の花や、丸ノ内線連結ドアに描かれた各駅のモチーフ画など、楽しさのあるこつたデザインも素敵だなあ

と思う。

このような電車の魅力を日々肌で感じるうちに、乗客の安全と便利さを考えぬいた電車を作る「力」になってみたい、鉄道を設計する仕事、「鉄道設計士」になりたい、という思いが強くなった。特に老若男女、障害のある人、すべての人に居心地の良い車両設計や、乗客の心を和ませるような細部のデザイン、環境を考えたバッテリー電車を全国に普及させる開発にも取り組んでみたいと思っている。

そのためには車両の仕組みについて、努力しながら膨大な知識をもつ必要がある。今はまず、機械工学を基礎から学べる大学に入ることが目標。卒業後は鉄道車両メーカーに入り、ひとつひとつしっかりと経験を積みながら設計に携わってきたい。夢はいつか、自分が担当した電車に、不安なく笑顔で乗っている人々の姿を見ることが。そしていつか自分の知識と技術を生かし、外国の電車設計にも参加してみたい。それがその先の大きな夢。